

平成 26 年 4 月 14 日
株式会社HARP

「OpenSSL の脆弱性」に関するご提供サービスへの影響調査について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 26 年 4 月 8 日に一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターが、「OpenSSL の脆弱性に関する注意喚起」(<https://www.jpccert.or.jp/at/2014/at140013.html>)を公開したことを受け、弊社提供サービスについて、本事象に関する影響調査を実施しましたので、下記の通りご報告します。

記

1. 「OpenSSL の脆弱性」の概要

オープンソースの暗号通信ライブラリである OpenSSL に、情報漏えいの脆弱性が発覚しました。この脆弱性を悪用すると、パスワードや秘密鍵などの情報が流出する恐れがあり、攻撃を受けたとしても痕跡は残りません。脆弱性が発覚した対象バージョンは OpenSSL 1.0.1 から 1.0.1f 及び OpenSSL 1.0.2-beta から 1.0.2-beta1 です。

2. 調査結果

上記業務システムにおいて、OpenSSL のぜい弱性が発覚した対象バージョン (OpenSSL 1.0.1 から 1.0.1f、OpenSSL 1.0.2-beta から 1.0.2-beta1) に該当する SSL ライブラリは使用していませんでした。そのため、上記業務システムにおいて「OpenSSL の脆弱性」に起因する影響はないことをご報告します。

3. 関連リンク

- 「OpenSSL の脆弱性に関する注意喚起」(JPCERT CC)
<https://www.jpccert.or.jp/at/2014/at140013.html>
- 「OpenSSL の脆弱性対策について」(IPA)
<http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140408-openssl.html>

以上